

MARCH -取扱説明書-
LAB
Made in France
(DECADES SERIES: Made in China)

防水性能について

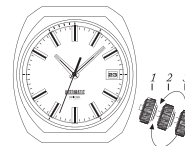
型により異なります。防水性能は5ATMまで日常生活防水、10ATMまで日常生活強化防水に相当します。お持ちのモデルがどのくらいの深さまで使用できるかご確認ください。

防水	○	×	×	×	×
3気圧	○	○	×	×	×
5気圧	○	○	×	×	×
10気圧	○	○	○	×	×
20気圧/30気圧	○	○	○	○	○

P1

AUTOMATIC SERIES

パワーリザーブ - 42時間以上
(日付の位置はモデルによって異なります。)

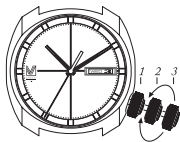


リユース位置 1- 通常位置。時計を動かすには 15 ~ 20 回、時計回りにリユースを回してください。
リユース位置 2- 時計は動いたままで、リユースを回して日付を変更できます。
*午後 8 時から午前 2 時の日付変更段階で日付設定を行った場合は、自動日付変更は行われません。
リユース位置 3- 時計・分針設定。リユースを回して時刻を設定できます。
(時刻設定の際は、午前・午後にご注意ください。)

P2

ELECTRIC SERIES

DECADES SERIES



(曜日 / 日付の有無・位置はモデルによって異なります。)

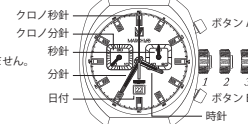


リユース位置 1- 通常位置。時計が動きます。
リユース位置 2(ELECTRIC SERIES)- 時計は動いたままで、時計回りにリユースを回して日付を変更できます。また、反時計回しにリユースを回して曜日 / 言語を変更できます。
* 曜日言語は英語、フランス語を選択できます。
* 曜日は通常午前 0 時頃、第 2 言語が表示され、それから約 2 時間後に設定した第 1 言語が表示されます。
* 午後 10 時 00 分から午前 0 時の日付 / 曜日変更段階で設定を行った場合は、自動変更は行われません。
リユース位置 2(DECADES SERIES)- 時計は動いたままで、反時計回しにリユースを回して日付を変更できます。
* 午後 9 時から午前 1 時の日付変更段階で日付設定を行った場合は、自動日付変更は行われません。
リユース位置 3- 時計・分針設定。時計が止まり動力の 70% を削減できます。リユースを回して時刻を設定できます。
(時刻設定の際は、午前・午後にご注意ください。)

P3

ELECTRIC CHRONOGRAPH SERIES

リユース位置 1- 通常位置。時計が動きます。
リユース位置 2- 時計は動いたままで、リユースを回して日付を変更できます。
* 午後 9 時から午前 0 時の間に設定を行った場合は、自動日付変更は行われません。
リユース位置 3- 時計・分針設定。リユースを回して時刻を設定できます。
(時刻設定の際は、午前・午後にご注意ください。)



クロノグラフの使い方

1. クロノグラフのスタートとストップはどちらもボタン A を押します。
 2. 計測をストップした状態で B ボタンを押すとクロノグラフはリセットします。
- スプリットタイム
1. ボタン A を押し、スタートします。
 2. B ボタンを押す毎にスプリットタイムが表示されます。
 3. A ボタンを押すと計測がストップします。
 4. B ボタンを押すとクロノグラフはリセットします。

クロノグラフ針のスタート位置の設定方法

1. ゆっくりとリユースを 3 の位置にひいてください。
 2. A ボタンと B ボタンを同時に 2 秒以上押してください。(クロノグラフ秒針が 360° 回り、矯正機能が起動します。)
 3. A ボタンを押してクロノグラフの秒針を希望の位置まで動かします。(ボタンを押し続けることで早く進みます。)
 4. クロノグラフの分針は B ボタンを押した後、A ボタンを押して調整します。
 5. リユースを通常位置に戻してください。
- * 電池交換した際や、B ボタンを押しても 0 の位置に戻らない場合もこの方法で戻してください。
* クロノグラフの針を 0 の位置に戻している最中にリユースを元に戻さないでください。
途中で止めることによりスタートの位置がずれます。

P4